

## はしがき——色褪せないブースター

コロナ自粛で自宅で映画をみる人が増えた。みる人が増えたらコンテンツも増えた。昔ならテレビではまずみられなかったような作品も、今ではネット配信でみることができる。それならばステイホームで映画をみて、ついでに少し憲法の勉強になれば、お得かもしれない。

まずはそういう気分で、気楽に、少し物知りになれる便利本として、本書を手にとっていただければと思います。しかし、その気になればどんどん深みにはまる内容なので、その気になった人はぜひ深みにはまってください。

法学、とくに憲法を学ぼうとすると、重要な用語のイメージがつかめず、「ピンとこない」、そこがネックになって勉強が進まない、ということがあると思います。そこを言葉で説明しようとする、ますます理屈っぽくて消化しにくい話になってしまう。そこで、そういう言葉の消化吸収を助けるブースターのような映画を一緒にみて、感覚をつかむのが良いのではないか。そのとき、その映画のどこを見ると憲法学習のブースターとして役立つのか、野暮を承知でそこを解説する本を作ろうと考えて、本書の前身となる『映画で学ぶ憲法』を2014年に作りました。

そこから5年。幸いにして多くの方に読んでいただき、また、大学や高校の授業で活用して下さった教員の方、映画上映会での作品選定に役立てて下さった一般市民の方や行政関係の方の声もいただき、2冊目を作る運びとなりました。2冊目も、気軽な教養書として広く読んでくださる方がいる一方で、教育・文化関係の方の実用ハンドブックとして活用していただけることを願っています。

今回の2冊目は、編者も4名に増えました。いずれも映画好きで、映画を授業の中で積極的に生かしている大学教員です。複数の編者で何回も検討したおかげで、多様な視点から作品を選ぶことができ、憲法の全体像を知るうえで必要な論点をひとつとおりにカバーできたと思います。

とはいえ、本書のような紙版の本は、どうしても紙幅の制約があり、編者の思

う問題関心をすべてカバーできるものではありません。そこで今回は、『映画で学ぶ憲法』のウェブ版を立ち上げ、本書に掲載しきれなかった作品紹介や本書では圧縮をお願いした原稿の元の長いバージョンや関連情報を【映画で学ぶ憲法ウェブラウンジ】として掲載することにしています。なお、以下のQRコードもしくは法律文化社ウェブサイトの「教科書関連情報」([https://www.hou-bun.com/01main/01\\_04.html](https://www.hou-bun.com/01main/01_04.html))からアクセスできますので、そちらもどうぞ閲覧をお願いします。

本来ならば本書は、コロナ・ステイホームが始まり、各学校がリモート授業に切り替えた1年前の時点で刊行できれば理想でした。が、本書にかかわってくださった方々や肝心の編者が、大学のコロナ対応などに手を取られ、当初の予定から1年遅れての刊行となりました。この遅れはひとえに編者の責めに帰すべきもので、1年以上前の時点で原稿を完成させてくださっていた執筆者の方々には、深くお詫びと感謝を申し上げます。と同時に、本書で選んだテーマと作品は、一時の賞味期限で価値を失うものではなく、時間が経っても色褪せないものばかりです。

歴史は繰り返す。とくに、起きた歴史的事実にたいする記憶が薄れ、反省や危機感が薄れたところで、繰り返される。そのことを考えたとき、息の長い過去の作品、重要な歴史的事件を今の視点と技術であらためて問い直す作品、今後も観る者にさまざまな問いかけをし続けるに違いない作品をとりあげ、ご紹介することができるのは、編者一同にとって大きな喜びです。本書が法学学習の色褪せないブースターとなることを願っています。

編者一同を代表して 志田陽子



ウェブラウンジ用 QR コード